

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5～7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	人材誘致・定住促進対策事業費	まちづくり協議会等の地域団体と連携して鳥取らしさや田舎暮らしを体験していただくための施設（お試し定住体験施設）の管理運営を行い、施設利用者の移住意欲を喚起することで移住定住の促進を図る。 また、中山間地域のまちづくり協議会等の地域団体と連携して空き家の利活用を推進する。これにより、田舎暮らし志向の強い移住者の受入体制を充実し、地域の活性化と自立した地域コミュニティの維持につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し定住体験施設の管理運営 4施設（市街地1、用瀬1、佐治1、気高1）</li> <li>・移住定住空き家バンクの管理運営 9団体</li> <li>・移住者による中山間地域の空き家利活用に係る各種支援の実施 5件</li> </ul>	対面移住相談会への出展や各種SNS及び移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」での情報発信等により、令和5年度は233世帯の移住相談登録があった。相談者に対する移住定住専任相談員による伴走型支援の実施や各種移住支援制度による支援により、451人の移住者の受け入れにつながった。これにより、地域の活性化が期待される。	前年度との比較で、移住相談登録者数・移住者数は同等となった。今後もポータルサイト等での情報発信により登録者数の増加を図るとともに、移住定住専任相談員による丁寧な相談対応により移住者数増へ繋げていく。また、移住希望者等のニーズ把握に努め、移住支援施策の充実を図る。	市民生活部	地域振興課	91
2	○	わっぴいな祭事業費	地域住民団体との共催によるイベントをわっぴいな祭の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元（じげ）のひと・ものを集める取組を実施する。 また、旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城下街なみPR事業 鹿野城下町の町並みを活かし、空き家等を利用して週末だけのまちの店【9月16日、17日、23日、24日、30日、10月1日】を開催。</li> <li>・農産物、特産物販売促進事業 鹿野えもん市【5月21日、10月29日】開催、河内実樹の里山まつり【11月4日】開催、またSNSを利用した井うれしかの事業を展開。</li> <li>・芸能発表、作品展示事業 鹿野往来交流館で鹿野町文化団体10団体の作品展示【10月4日～10月30日】、鳥の劇場で芸能発表【10月29日】を開催。延べ来場者人数：約6,500人</li> </ul>	城下町の空室を利用して店舗、特産物販売、文化団体の作品展示など地元（じげ）の人とものを集める取り組みを実施。また舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業の一環として鳥の劇場と連携した芸能発表を実施。	今後も継続して事業を実施するとともに、舞台芸術を核とした賑わいづくり事業の推進を図る。	鹿野町総合支所	鹿野町総合支所地域振興課	346
3	○	輝く中山間地域創出事業費	中山間地域の活性化に向けて住民等が自ら行う活性化計画策定及び計画に基づいたソフト事業、中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援する。	中山間地域の活性化に向けて住民等が自ら行う活性化計画策定、ソフト事業、里山交流事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト事業 6件</li> <li>・里山交流事業 1件</li> </ul>	令和5年度にソフト事業を6件、里山交流事業を1件支援したことにより、中山間地域の住民等自らによる地域の活性化が図られた。	計画を策定した地域やソフト事業、里山交流事業を継続して取り組む地域を引き続き支援し、地域づくり活動の定着と継続的発展を図る。さらに、関係人口創出に向けた取り組みについても支援を行う。	市民生活部	地域振興課	91
4	○	過疎地域振興事業費	地域リーダー等を対象に、より専門的・実践的な講座として「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を行い、具体的な活動を立ち上げて自ら取り組んでいく人材を養成して地域活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○とっとりふるさとリーダーアカデミーの開催 ゼミ開催及び個別相談を実施し、26名の地域リーダーが誕生した。</li> <li>【講座開催回数】（計19回）</li> <li>・開校式の開催 1回</li> <li>・テーマ別専門ゼミの開催 7回</li> <li>・エリア別地域ゼミの開催 8回</li> <li>・麒麟のまち交流ゼミの開催 2回</li> <li>・成果発表会の開催 1回</li> </ul>	リーダーアカデミーで養成した地域リーダーが核となり、地域住民を巻き込んだ活動を実施していくことで、地域の活性化や課題解決が期待できる。	高校生や大学生も対象としたゼミの開催、ドローンやワークショップなど新しいテーマを取り扱う等して、ゼミ参加者の関心を広げていく。 また、継続して活動に取り組む個人や団体にに対しては個別相談窓口により日々対応を続け、活動の深化を図っていく。	市民生活部	地域振興課	92
5	○	中山間地域・買い物支援事業費	本市の中山間地域において、移動販売車等の買い物支援に係る取組や、移動販売と見守りを組み合わせた買い物福祉サービスの取組を支援することにより、買い物が困難な地域における買い物環境の改善を図るとともに、中山間地域住民が安心して暮らすための環境づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動販売の運営や買い物福祉サービス（見守り）への支援</li> <li>【補助件数】</li> <li>・移動販売車両導入補助 1件</li> <li>・移動販売運営補助 4件</li> <li>・買い物福祉サービス補助 3件</li> </ul>	中山間地域における移動販売の車両導入補助を1件、運営補助を4件、移動販売と見守りを組み合わせた買い物福祉サービス補助を3件実施した。これにより、本市の中山間地域における買い物環境が確保され、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている、いわゆる買い物弱者に対する支援が図られた。	中山間地域の買い物環境の維持は、中山間地域で暮らす住民の安定的な暮らしに直結する。安心安全な暮らしを確保するために、継続的な支援を実施する。	市民生活部	地域振興課	92

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
6	○	地域おこし協力隊定住・定着支援事業	本市に受け入れた地域おこし協力隊の任期終了後の定住に要する経費の一部を支援することにより、円滑な定住を図る。	地域おこし協力隊の定住支援 ・家賃補助 3件	3件の家賃補助を支援したことにより、地域おこし協力隊の任期終了後の円滑な定住を図ることができた。	地域おこし協力隊の任期終了後の定住・定着に要する経費の一部を支援することにより、隊員の円滑な定住・定着を図っていく。	市民生活 部	地域振興課	94
7	○	小さな拠点整備事業費	本市の中山間地域等において生活する人々が安心して暮らせるような生活サービスや支え合いに取り組む「小さな拠点」の立ち上げを支援する。(気高町・逢坂地区)	地域運営組織の体制強化のため担い手の取り組みを支援したほか、研修の充実や積極的な情報発信を行った。 ・先進地視察の実施 3回(鳥根県雲南市、佐治町、智頭町) ・ホームページの充実、運動会など地区内の各種イベントでの情報発信を行った。また地区のあるべき姿を図案化したオリジナルカレンダーを作成し、地区全戸配布を行い周知を図った。	組織の体制強化、担い手の支援、先進地視察、情報発信など地域住民自らが主体となって「小さな拠点」づくりに取り組むことにより、持続可能で魅力ある中山間地域の振興に向けて取り組むことができた。	安心して暮らせる地域づくりを目指して、育成した担い手を中心に、地域運営組織の法人化・体制強化、交流・活動拠点をづくり、交通ネットワークづくりなどを構築させるため、小さな拠点づくりに対し引き続き支援する。	市民生活 部	地域振興課	94
8	○	伝統工芸等後継者育成支援事業費	伝統工芸等の技術を伝承するため、後継者育成研修従事者とその受け入れを行う事業者に対して支援することで、伝統工芸等の保存及び地場産業の活性化を図る。	伝統工芸の研修生受け入れ事業者、及び研修従事希望者無のため、補助金交付実績 0件	伝統工芸の技術伝承者を養成するための受け入れ実績は無かったが、因州和紙の後継者育成を希望する事業者が、広く県内外から研修希望者を公募することとし、関係者で準備を行った。本市としては初の試みであり、次年度に期待できる取り組みである。	伝統工芸の技術者が高齢化等により減少しつつあり、ふるさと産業の衰退が懸念される中、従来のように家族や地域からの後継者が望めない状況となっており、広く県内外からやる気のある研修生を募集する取組みが必要である。	経済観光 部	経済・雇用 戦略課	189
9	○	地域おこし協力隊事業費 (河原地域)	都市圏の人材を受け入れ「地域おこし協力隊」に委嘱し、都市圏の人材の中山間地域での地域づくり活動の展開や移住を推進し、地域の維持や活性化を図る。	「お試し地域おこし協力隊」を2泊3日で実施をし、2名の申し込みがあった(その後1名は参加辞退)。	鳥取市河原町の魅力をPRするきっかけづくりとなり、関係人口の創出にもつながっていくと期待される。	河原町エリアにおいては、令和6年度は地域おこし協力隊制度を活用せず、別の新たな事業を活用して町の魅力づくりや持続的発展を目指していく。	河原町総 合支所	河原町総合 支所地域振 興課	340
10	○	地域おこし協力隊事業費 (用瀬地域)	都市圏の人材を受け入れ「地域おこし協力隊」に委嘱し、都市圏の人材の中山間地域での地域づくり活動の展開や移住を推進し、地域の維持や活性化を図る。	「お試し地域おこし協力隊2泊3日体験プログラム」を実施し、関東から1名の参加があった。	参加者自身が体験した様子や町の紹介をSNSで発信するなど、用瀬町の魅力をPRするきっかけづくりとなり、関係人口の創出と今後の募集への足掛かりとなった。	令和6年度は、流しびなさん襷製作の技能継承と空き家活用を主なミッションとして、隊員1名を募集し、採用する予定。	用瀬町総 合支所	用瀬町総合 支所地域振 興課	342
11	○	地域おこし協力隊事業費 (佐治地域)	都市圏の人材を受け入れ「地域おこし協力隊」に委嘱し、都市圏の人材の中山間地域での地域づくり活動の展開や移住を推進し、地域の維持や活性化を図る。	本事業は特定非営利法人さじ未来に委託し、委託事業者で1名の「地域おこし協力隊」募集を行ったが、応募は無く隊員の確保することができなかった。	令和5年度での隊員の確保はできなかったが、ホームページや、都市圏での説明会でのPRの実施により、地域のPRにつながったものと考えられる。	関係人口創出のための具体的な方策や、隊員応募の際の問題点を整理し、新たな関係人口創出のための事業構築を検討する。	佐治町総 合支所	佐治町総合 支所地域振 興課	343
12	○	地域おこし協力隊事業費 (気高地域)	都市圏の人材を受け入れ「地域おこし協力隊」に委嘱し、都市圏の人材の中山間地域での地域づくり活動の展開や移住を推進し、地域の維持や活性化を図る。	浜村地区をはじめとした気高地域内をくまなく自転車で巡ることにより、地域の伝統行事、各種イベント、名所や旧跡をInstagram「はまむら散歩」で年間を通して情報発信ができた。このほか、音楽サークルを立ち上げ町内イベントのにぎわい創出に貢献した。既存イベント、新規イベントの企画を総合支所のほか、商工会や各種団体へ事業提案を行った。	地域内を自転車で巡ること地域住民とのつながりができ、地域外からの視点でのアドバイスをきっかけに、新たな動きが生まれることが期待される。	地域の課題である情報発信不足に対する取り組みとして、写真クラブ、特産品開発部などの組織化をおこない、将来的に「はまむらポータルサイト」を立ち上げ地域の活性化を目指す。	気高町総 合支所	気高町総合 支所地域振 興課	345

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
13	○	地域おこし協力隊事業費 (鹿野地域)	都市圏の人材を受け入れ「地域おこし協力隊」に委嘱し、都市圏の人材の中山間地域での地域づくり活動の展開や移住を推進し、地域の維持や活性化を図る。	地域おこし協力隊員を1名雇用することができた 空地、空き家、耕作放棄地等の現状把握や活用の可能性などについて取り組みを開始しており、類似事例のある地域へ研修や視察に出向き、鹿野町でアレンジして実践する準備に着手することができた。	令和5年度は着任期間が3か月であったが、事業委託先であるいんしゅう鹿野まちづくり協議会の主導のもと、イベントの開催、地域における人脈づくり、空き家相談会など、地域づくり、ひとづくりにつながる活動をスタートすることができた。	管理を任せてもらえる空き家をどう増やしていくかが課題であり、空き家と移住者のマッチングを行い、市と連携しながら定住促進を図っていく。 また、耕作放棄地で展開している果樹の里山プロジェクトを継続して実施していく。	鹿野町総合支所	鹿野町総合支所地域振興課	346